

水道事業会計

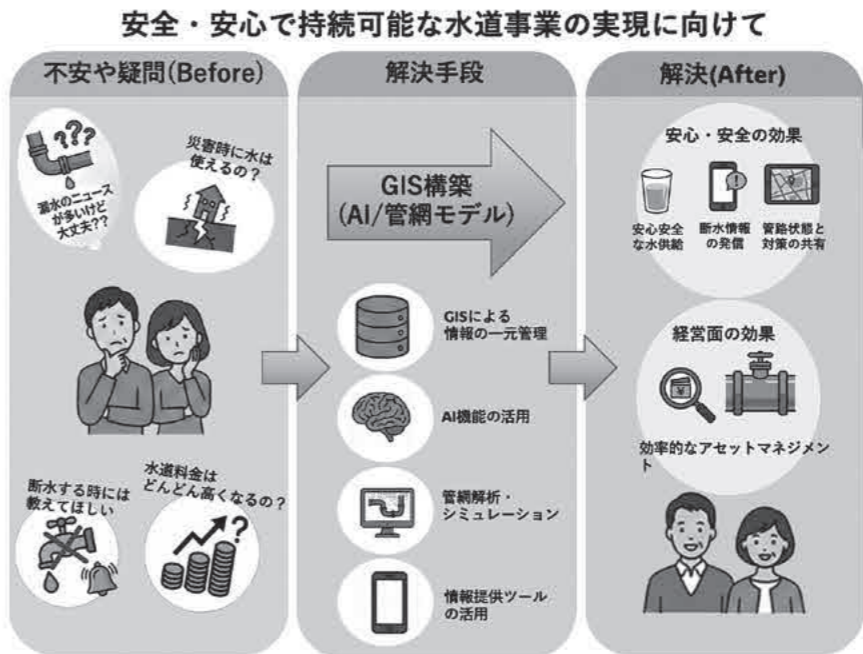
給水台帳を電子化

AIで工事や災害時の対応力を向上

Q 営業外収益の他会計補助金が約1億6000万と高額だが。

A 4月から9月まで水道料金の

基本料金を減免する分を一般会計から繰り入れるものです。さらに、給水台帳の電子化に取り組む費用の一



安全安心のため水道事業にもDXを活用。おいしい水を担保します。

部について、国の交付金の活用を予定しているためです。この電子化への取組は、AIと水理計算システムを導入し、工事や災害時の対応の際、断水影響範囲の特定や復旧作業の短縮が可能となり、さらに管路の劣化診断などを可能とし、効率的な管路更新を進めることができます。

下水道事業会計

Q 公共下水道収益は約2400

万円を増を見込んでいる。今後、光熱費や人件費の増加が見込まれるが、見直しは。
A 使用料の改定について、5年に一度検討していきます。
Q 公共下水道の下水管で、東小川やみどりが丘の下水道管は老朽化しているが、大丈夫か。
A 管路の清掃時に点検を行っていて、今のところ問題ありません。

介護保険特別会計

認知症への理解を深めたい
相談や訪問の取組を継続

Q 認知症総合支援事業費が減額になったわけは。

A 物忘れ相談の件数が減っており、減額しました。令和8年度も相談窓口を月1回開くことを想定し、同様な予算を計上しています。また、認知症初期集中支援チームとして、医療や福祉の専門職及び長生き支援課職員で訪問しています。困難な事例等について、介

につながらるよう、対応していきます。
Q 身近にも認知症が疑われる方が見受けられるが、なかなか相談に行こうとしない。この事業の周知が更に必要かと思うが。

A 現在、広報等で周知していますが、さらに様々な媒体を駆使して周知できるよう取り組んでいきます。

令和7年度 一般会計補正予算

リリックホール棟 解体後の利活用
新たに防災倉庫を設置

Q リリックおがわホール棟の跡地に防災倉庫が予定されているが、必要性は。

A リリックおがわは自主避難場所等や雪害等による交通遮断時に一時避難所として活用される重要な公共施設です。これまでホール棟に災害用物資を保管していましたが、解体に伴い、新たに倉庫の整備が急務となりました。また、既存の防災備蓄倉庫の搬出入路は1か所のみという課題があり、道路崩壊等により道路が寸断される事態も想定されます。こうしたリスクを踏まえ、防災地区拠点の敷地内に新たな倉庫を設置することが不可欠です。

新型コロナワクチン

Q 新型コロナワクチン接種委託料が減額した理由は。
A 国の助成金の廃止に伴いワク

チン接種の自己負担額(3000円)を廃止し、当町を含めた比企地域の市町村では接種料を120

00円程度に設定しました。また、日常生活に戻ってきたことによる新型コロナウイルスへの関心の薄れなどが要因と考えられます。

西小学校への改修

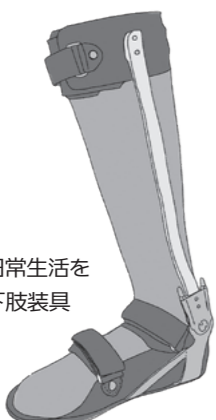
Q 旧西中学校を西小学校へ改修するようだが、工事の詳細は。

A 校舎・体育館照明器具のLE

D化、非常用発電設備、特別教室及び体育館の空調設備を新たに設置します。
小川中学校体育館
Q 非常用発電機の新設に当たり、窓をペアガラス(2重化)にするなどエアコンの効率化、断熱化を実施すべきではないか。
A 現時点では、令和15年度までに効率化を施す考えです。

補装具購入を支援

Q 補装具費の支給額が増額要求された理由は。
A 補装具は障害のある方の日常生活を支える大切な器具です。短下肢装具、車椅子などの補装具購入等の申請に合わせ、年度内に支給します。



障害者の日常生活を支える短下肢装具



使い勝手、便利機能、安全対策は児童目線で。改修工事で20~30cmの転落防止柵を設置(緑色部分)。着々と西小学校化が進みます。



小川町議会だよりは

写真に「タワール」

写真は編集委員が「撮る」を選ぶ。キャプション(写真説明)も工夫します。